

ライフログを考慮したマップアプリの制作

大正製薬による調査によると、令和 2 年度運動不足を感じるとする人の割合は 79.6%と高い水準になっている。このような日本人の運動習慣が低下傾向にあるという点に問題を感じたことが理由で、筆者は『ライフログを考慮したマップアプリの制作』を行った。本研究では上記の問題点を解決するべく、現代において運動不足解消に大きな貢献をしているマップアプリのプロトタイプを作成することを目的としている。具体的には、プログラミング言語である JavaScript 等を利用し、スマートフォンからの使用を前提としたある地域における散歩コースを提案するウェブアプリケーションの作成を目的とした。これを企画した理由としては、スポーツを行うよりハードルが低く、簡単に取り組むことができるウォーキングに着目し、現代様々な年代で流行している位置情報を利用したマップアプリケーションに意義を感じたためである。また、健康を意識するならばライフログ機能が盛り込まれているとよりアプリを利用するモチベーションが高まると考え、『ライフログを考慮したマップアプリの制作』に取り組んだ。

実際に完成したアプリケーションの評価を行った結果、良い点は地図と散歩候補の表示が分かれているため、複雑な表示になっておらず見やすいなどが挙げられる。悪い点は、位置情報はほとんど正確だが、スポットの多い場所になるとマップ表示が狂い、位置情報の表示が飛んでしまうことなどが挙げられた。

今後の展望と課題としては、より使いやすく見やすいインターフェイスの作成やライフログ機能の充実と障がいを持つ人でも利用可能になるような機能の導入などが挙げられ、改善していきたいと考える。